

令和6年度 いのちの授業 事例集（高校）【特別活動】

掲載数

80

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	高複合	特別活動	交通安全と非行防止教室	交通ルールや交通事故防止について話を聞いた。自転車乗車時にヘルメットの着用が努力義務になったことや、登下校中の安全確認、自分の身を守るための大切さなどについて学んだ。 また、詐欺や振り込め詐欺などの犯罪に巻き込まれないようにするための注意点などを教えてもらった。	講師は警察署の職員 学年は1～3年生
2 川崎市	高3	特別活動	性教育「今知っておきたい性のこと」	多様な性のあり方や性感染症の予防、デートDVについて話を聞いた。生徒からは、性の多様性が印象に残ったことや、偏見はならないなどの感想があげられた。 また、地域見守り支援センターの方より、こころ、体、性に関することなど困った時の相談窓口についても話をしてもらった。	講師は大学の准教授 地域見守り支援センター保健師 相談窓口のパンフレット配布
3 横須賀市	高複合	特別活動	性教育講演会	講師の先生をお呼びし、左記のテーマで講演を行った。意図しない妊娠、不妊、性感染症など様々な性に関する課題が山積している中、正確な性の知識やオープンに考える場の必要性などをお話された。生徒も集中して関心を持って講演会の臨んでおり、正しい性の知識の習得や、性に関わるコミュニケーションスキルについて考えることができた。	講師は、NPO法人ピルコン。資料を基に、複数の講師のお話で進んだ。
4 神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練「地震から命を守る」	前年度までの防災訓練（避難訓練）から大きく取り組み方と考え方、指導方法を改善し、より実際の災害発生時の行動にフォーカスした訓練及び指導を行った。教員不在の場所・時間に被災したときに、自分の命を守るための最適な行動を取れるように、発報時間を定めないシェイクアウトなどの実践と、災害データや写真などの教材を活用した防災教育を組み合わせ実施した。また、訓練の前後に教員研修を実施し、統一した指導体制づくりを行った。	全年次でLHRで実施。総務管理グループの防災教育担当教員が講師を担当。自作の教材とスライド資料で各クラスで説明。
5 神奈川県	高1	特別活動	DIG	生徒は東日本大震災に関する動画の視聴し、大震災では何が起こるのか、何をすべきかを学んだ。また、東日本大震災が起きた後の本校の写真を見て、職員から当時の様子を聞いた。その後、ファシリテーターの職員のアドバイスを聞きながら、学校周辺の地図を使って避難場所、食料や飲料水を確保できる場所、警察署や消防署の場所等の確認を行い、新聞紙で作ることができる簡易スリッパを実際に作った。どの生徒も積極的に取り組み、防災や減災に対する意識が高まったようだ。	学年：高1 講師：本校職員 教材等：地震に関する動画、学校周辺の地図等

6	神奈川県	高1	特別活動	いのちの授業	生徒はいじめに関するアニメーション動画（1Nの勇気）を視聴し、いじめや暴力がどれだけ非道であるか、それによって被害者とその家族をどれだけ傷つけるかを学んだ。また、動画視聴後の説明の中で、「1N（1ニュートン）は携帯電話のボタンを押す際にかかる力であり、暴力の現場に遭遇したときには勇気を振り絞って警察に電話をかけてほしい」という言葉があり、生徒は命の尊さについて各々深く考えていたようだ。	学年：高1 講師：神奈川被害者支援センター職員 教材等：アニメーション動画（1Nの勇気）
7	神奈川県	高2	特別活動	メンタルトレーニング	高校生活に慣れ、自分の活動スタイルも確立されてくる2年生は、部活動や学習面で伸び悩むことに直面する学年でもある。自分の好きなことや得意なこと、調子がいい時はどんな時かなど自分を知ること、努力の量に比例して成果が出るわけではなく、プラトーやスランプがあることを知り、完璧を求めすぎない心の持ち方が大切であることなどについて理解を深めることができた。	2学年教育相談担当教員が講師を務めた。 (参考図書：テニスの心理学、大修館 高等新保健体育)
8	神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練	生徒が校内にいる状況で大地震が起きた際に、生徒等の生命・身体の安全確保を図ること、また教職員・生徒の防災意識の向上を図るとともに、大地震の際に適切な対応がとれるよう日頃の備えを万全にすることを目的とした。 地震による校舎倒壊のおそれがあり、また一部停電にもなったという想定で実施した。定時制ということもあり、夜間で暗い中でも冷静に行動し、適切に避難経路を確保して安全な場所に非難ができるよう教職員・生徒が取り組んだ。このような訓練を通して地震発生時にまずは自分の命を守るための行動がとれるように意識を高め、また冷静に行動することの重要性を再確認できた。	
9	神奈川県	高複合	特別活動	D I G 研修	災害発生時に適切な判断を行い、安全な場所に速やかに避難できることを目的として実施する。 ハザードマップがどのようなものであるかを学び、ハザードマップを用いて学校周辺の危険箇所や災害時に利用できる避難場所を確認する。さらに、自宅周辺などにそのような場所がどこにあるのか日頃から観察する習慣を身につけさせ、自宅にいる状態で災害が起きた際に自分の命を守るために迅速な行動がとれるように考えさせる。	
10	神奈川県	高複合	特別活動	自転車乗車時のルールを知る	本校グラウンドにおいて、全校生徒を対象にスケアードストレイト方式の交通安全講習を行った。特に自転車の危険性について詳しく実施していただけたので、多くの生徒が自転車通学をしている本校にとって自転車に乗るときのルールやマナーがいかに大切で自分の身を守ってくれるか、また、周りの歩行者などへの気配りが大切かを感じることでできる講習となった。	今年度は県での割り当てがあり実施できた。 講師、シャドウプロダクション
11	神奈川県	高1	特別活動	めぐみの視聴をとおして、人権意識の向上と命の大切さを考える。	各クラスで事前に拉致の実態や拉致被害者のこと、それに伴う様々なことを知る機会を設けた。そののちに「アニメ めぐみ」の視聴をしてさらに理解を深めるとともに人権を守る大切さや、命を大切に必要性を認識する機会とした。	アニメ「めぐみ」

12	神奈川県	高1	特別活動	性教育	<p>心身の発育・発達には男女や個人によって違いがあることを知るとともに、生命の連続性や人の誕生について理解し、自他の生命を尊重する態度を育てる。異性に対する心は男女に違いがあることを知り、互いを尊重し、よりよい男女の友達関係を築こうとする態度を育てる。</p> <p>今回はプライベートゾーンやパーソナルスペースを学ぶとともに、性的な接触の段階を学び、それにおけるリスク等を知る。</p>	1 学年対象
13	神奈川県	高複合	特別活動	災害図上訓練 DIG	<p>グループ活動を通じて、学校周辺の危険箇所や災害時に有用な施設等を地図等から探し出し、災害時の活動に役立つ知識を身につける</p>	全学年実施
14	神奈川県	高1	特別活動	薬物乱用防止教室	<p>映像資料を見た後にグループで話し合いを行い、薬物乱用の現状、心身への弊害、薬物の誘惑に対する対処法及びいのちの大切さについて考えた。</p>	薬物乱用防止啓発映像 【大麻の誘惑】警視庁 公式チャンネル
15	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育 「放水訓練」 「避難訓練」	<p>学校で災害（地震）が発生したときの避難訓練を実施した。その後、震災発生時の状況等について改めて確認し、自分のいのちを守るためすべきことをグループごとに考えた。まず自分のいのちを守る行動をとること、次に高校生として周りの人のいのちを守るためにどのように状況判断を行い、行動するかを考えた。</p>	全校生徒対象
16	神奈川県	高1	特別活動	性感染症予防	<p>性感染症予防講話をオンラインで実施した。身近な性感染症の問題と、性感染症を予防するために気を付ける事の重要性を講話により知った。性感染症という題材を通して、自分も相手も大切にすることの意味を生徒が感じる事ができた。講話により「いのちを大切にしてほしい」というメッセージが伝わったと感じる生徒もいた。</p>	性感染症講師：国士館 大学文学部教育学科准 教授
17	神奈川県	高1	特別活動	SSE(バウンダ リー)	<p>1 学年LHRで実施した。セルフディフェンスを学習する機会として、バウンダリー(境界線)について知り、自他のバウンダリーに触れることをねらいとした。他者のバウンダリーに触れ、自分のバウンダリーとの差について考える活動を行った。昨年度は体育館での全体講義形式であったが、体育館改修に伴い各HR教室での開催となった。</p>	前年度講師による情報 共有を行い、各HR担任 が実施した。
18	神奈川県	高1	特別活動	SSE(アサーショ ン)	<p>1 学年LHRで実施した。前項で学習したこと(バウンダリー)をさらに発展させ、自他のバウンダリーを守る術として、アサーションについて学習し、実践した。生徒対象の事後アンケートには、色々な悩み事や疑問点について多くの声が寄せられた。生徒各々が自分を見つめ直す良い機会となった。</p> <p>第1回、第2回、事後2週間後の計3回アンケートを行った結果、「学習内容が私生活・学校生活の中で<b>活用できた</b>」と答えた生徒が約65%以上であったことから、本授業は一定の効果があった事が分かった。また、「今後もSSEのような学習を<b>必要とする</b>」と回答した生徒が約35%いたことから、コミュニケーションに課題を感じている生徒が多いことが分かった。</p>	前年度講師による情報 共有を行い、各HR担任 が実施した。

19	神奈川県	高1	特別活動	がん教育	<p>がんについて、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることを理解した。がんの予防について、がん検診の目的や早期発見の重要性を理解し、生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取り組みや社会的な対策を学んだ。</p>	講師：川崎市立井田病院医師
20	神奈川県	高1	特別活動	性感染症・エイズ予防講演会	<p>暑い時期であったため、教室でオンラインの形で講演会を実施した。講師による、性の決定と多様性、性感染症の種類と動向、検査と予防法、妊娠・避妊の講義の後、ワークショップ（水の交換で感染の広がり方を理解する）を行った。概ね、生徒は集中して参加しており、事後アンケートでもほとんどの生徒が、講演会の内容は参考になったと答えていた。また、正しい知識を得て、理解し、自分事としてとらえることができ、性に対する意識が変わったと答える生徒も6割を超えた。</p>	講師は、NPO法人エイズネットワーク横浜の職員。資料として、性感染症についての説明冊子配付。
21	神奈川県	高1	特別活動	性教育講演会	<p>対面による講演会を体育館で受講した。内容は、思春期の性について正しい知識を持ちお互いを大切にすること、望まない妊娠や性感染症の予防についてなどであった。子宮頸ガンや性感染症、エイズについての理解を深め、自分や大切な人の身体や健康を考える貴重な機会になった。</p>	昭和大学教授
22	神奈川県	高1	特別活動	食育講演会	<p>オンライン講演会を教室のテレビで受講した。内容は、生活習慣向上のための食育についての講演であった。「早寝・早起き・朝ごはん」をキャッチフレーズに、規則正しい生活習慣を確立することで、元気で強い身体を作り、ひいては充実した人生を送ることに繋がるということ学び、健康を考える貴重な機会になった。</p>	公益財団法人ダノン健康栄養財団 栄養セミナー担当
23	神奈川県	高1	特別活動	薬物乱用防止教室	<p>健康教育の一環として心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成をめざして、薬物乱用による心身への影響、依存症、疾病との関連、社会生活や家族への影響などについて理解させることにより、誘惑があったときに生徒が適切な行動選択と意思決定ができる資質と能力を身につけることを目的として行った。講師を依頼した横浜ダルク・ケア・センターは、麻薬や覚醒剤、シンナーだけでなく咳止め薬、鎮痛剤、睡眠薬、精神安定剤、危険ドラッグそしてアルコールなど生活の身近な薬によって薬物依存になった人たちの回復と社会復帰を手助けする民間のリハビリ施設。</p>	講師：横浜ダルク・ケア・センター職員
24	神奈川県	高2	特別活動	震災学習	<p>修学旅行を機に東北を訪れ、震災学習を実施した。自然災害への対策や防災について学ぶため、東日本大震災の被災者の講話を聞き、復興の様子を視察した。特に震災遺構の見学では、生徒が生存者の津波の記憶を迫体験し、災害の脅威や影響と命を守る重要性を実感した。また、津波伝承館を巡り、地元の被災者の皆様から、被災時の避難行動について学んだ。これらの学びを通じて、生徒は災害を自分事として捉え、防災・減災意識を高めるとともに、いのちの大切さを胸に抱くことができた。</p>	東日本大震災の被災者

25	神奈川県	高1	特別活動	避妊・性について	年次全体で外部講師を招いて性教育講演会を実施した。生徒が実際に直面する可能性の高いデートDVの内容を軸に、避妊・性・性感染症といった内容を扱い、人との関わり方や自己の生き方について考えた。事前・事後のアンケートからは、生徒たちの気持ちや考え方に変化が生じたことがうかがえた。	NPO法人ピルコンより講師を派遣。 相談窓口カードを配付し身近な事柄として意識させることができた。
26	神奈川県	高複合	特別活動	教育相談に関する講話	SCやSSWに相談しやすい環境を整備するために、教育相談に関する講話を実施し、心に悩みを抱えている生徒の心のケアにつながるために、教育相談体制や相談窓口等の周知をする機会とした。	SC及びSSWによる講話 2学期開始の始業式に実施した。
27	神奈川県	高複合	特別活動	防災講話 「3.11を学びに変える」	東日本大震災時に被災地中学校に勤務し、震災により次女が犠牲になった経験と被災した実体験を聞くことで、災害を自分ごととして捉え、自助、共助、防災、減災について考える機会とした。	講師（元中学校教諭） 1学年及び2学年を対象に実施した。
28	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育	①本校の生徒・職員の防災に対する意識の向上を図った。 ②1年次生：「大師高校における津波のリスク」について考え、適切な行動について学習した。 ③2年次生：「大雨や洪水のリスク」について考え、適切な行動について学習した。 ④3年次生：「地震に対する備えや簡易トイレの使用方法」について学習した。 ⑤職員は、停電時の情報伝達の方法について実践を通して確認した。	複合学年：高1、高2、高3 教材： ・「津波ハザードマップ」 ・「川崎市洪水ハザードマップ」
29	神奈川県	高2	特別活動	交通安全講話	生徒の目の前でスタントマンが交通事故を再現し、事故の衝撃や恐ろしさを生々しく伝え、悲惨な事故を起こさないよう、適切な行動選択と意志決定ができる資質と能力を身につけることを目的としてスケアードストレート方式による交通安全教室を実施した。	中原警察署 中原区役所
30	神奈川県		特別活動	自他ともに大切にする思いやりの心	スクールカウンセラーとしての経験を踏まえた講義を行った。本校の生徒の実情に即した例をあげ、わかりやすく、自分を大切にすることと同時に他を思いやる実践方法について説明し、生徒の理解を促した。	全学年 講師 本校スクールカウンセラー
31	神奈川県		特別活動	震災などの非常時における自助について	地震などの災害にあった時に、高校生としてどのような行動ができるか、グループで話し合った。安全な帰宅方法や、帰宅できない場合の学校での過ごし方、避難してくるであろう地域の方々との協働について想像し、「自分ならどう行動するか」という意識をもつことができた。	全学年 防災訓練後、居住地区ごとに分かれて話し合いをした。

32	神奈川県	高複合	特別活動	「命の授業」	生き物の命の物語「世界一過酷なコウテイペンギンの子育て」を通して、生きることについて考えた。次に、「5歳で旅立った娘が教えてくれたこと」を視聴し、親密な人間関係の確立、特に同性、異性との親密な人間関係を確立するためには、自分自身が我慢し過ぎず、相手のその人らしさを認め、過大な要求はせず、相手を思いやり、お互いに関係性を築くことが大切であることを考える時間を持った。映像「It's Okay」を通し、自分らしく生きることについて考えた。最後に、生きるのがしんどい、あなたのためのweb空間「かくれてしまえばいいのです」の紹介があった。それぞれの命が尊く、どう生きるかを考える時間になったという、生徒の振り返りがあった。	講師は、本校スクールカウンセラー 自作のスライドを活用
33	神奈川県	高複合	特別活動	災害訓練 (DIG訓練)	災害を想定した、火災・地震・洪水避難訓練も行っているが、Figmaを用い災害図上訓練を行った。学校周辺の危険箇所や災害時に有用な施設等を探し、タブレット上の地図に色分けした内容を、グループで共有した。その地図を活用し、災害時の登下校の際に、どのような点に気を付けたらよいか等を各自考え、災害時の具体的な行動について意見共有した。また、災害時をイメージし、安全に行動するためには地図から読み取ったことを活かし、各自の生活地域でも役立つ施設、危険個所の確認についても考えた。災害時や日常における防災について考えることができた、という意見が生徒からあった。	講師は、学校管理グループ職員 タブレットを用い、Figma上で学校周辺の地図を用いての作業
34	神奈川県	高2	特別活動	薬物乱用防止講演会	薬物乱用を防止し心身ともに健康な高校生活を送るため、講演会を実施した。神奈川県麻薬等薬物相談員を講師として招き、薬物乱用の恐ろしさを知ることにより、身の回りに潜む危険を回避して命を大切にすることを学んだ。	神奈川県麻薬等薬物相談員
35	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育	地域との連携・協力のもと生徒自らの安全と他者の安全にも貢献できるように実践的な防災訓練等を実施した。災害時の注意について全体講話を行い、実際の事例から災害について知ることにより、命を守る大切さを学ぶことができた。	地域消防署の協力を得て実施
36	神奈川県	高1	特別活動	交通安全教室 (自転車)	本校は丘の上にあり、自転車通学の生徒は、毎日急坂を自転車で上り下りしている。過去には、坂の下のカーブを曲がり切れず、家の門に突っ込んでしまったこともあった。ひとつ間違えば命を落としてしまう可能性もあり、近年自転車を取り巻く状況もより厳しいものになってきているので、そういったことを理解し、安全運転を心掛けてもらうために入学した1年生に対して実施している。内容は、クイズを通して交通法規の確認をし、事故の映像を見せ、改めて交通事故の怖さを知ってもらった。終了後は「知らなかった交通法規が知れた」「自分を守るためにも安全運転をしようと思う」といった声が多く聞かれた。	(参考資料) クイズで学ぼう！自転車安全利用五則 交通安全教室 (スケアード・ストレート)

37	神奈川県	高1	特別活動	がん教育授業	<p>がんに関する「正しい知識編」と講師の方の「経験談編」、生徒たちに行った事前アンケートからの「質問編」の構成であった。「正しい知識編」では、直近で保健の授業で勉強した内容も多く入っていたため、知識の定着につながる良い時間となった。また、がんの原因には自身で予防できるものと原因がわからないものがあることも確認した。さらに、がん患者になった立場から治療のこと、お金のこと、悩んだこと、感じたことなどを学んだ。</p>	<p>講師は、神奈川県がん患者団体連合会から派遣。 講師の方が、がんを経験された方であり、自身の体験をとおして生徒にメッセージを伝えていただき、大変参考になった。</p>
38	神奈川県	高3	特別活動	性の平等	<p>生徒の男女で制服を交換するセックスチェンジを行い、性の多様性やジェンダー平等・無意識の価値観を考える文化祭企画を立案した。その実現のためにLHR等を利用してLGBTQの支援団体へのインタビューや調べ学習を行った。文化祭では調べ学習の成果の展示やアンケート調査を行い、多くの人に興味を持ってもらった。</p>	担任
39	神奈川県	高複合	特別活動	国際理解教育	<p>本校では学校教育目標に国際理解教育を掲げている。その一環として「グローバル化する社会において、多様な人と一緒に生きていくということとはどのようなことかを考える」をテーマに日本語学校に通う学生と交流会を行い、異なる国の文化や習慣について考えた。言語や文化が異なる人との交流で、自分と他者を大切にすることを育むきっかけとなった。</p>	<p>全学年対象、各クラスで日本語学校の学生を3～4名を受け入れ、お互いの国の文化や習慣を紹介するなど、有意義な交流会となった。</p>
40	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育「DIG訓練」	<p>1学年では、ICTを活用し学校周辺の危険箇所や災害時に有用な施設等を地図等から探し出し、災害時の活動に役立つ知識を身に付けた。2学年では、「南海トラフ巨大地震、首都直下地震の被害と対策に係る映像資料」を参考に、自宅周辺の防災上危険な場所・役立つ施設・避難場所等を把握した。</p>	<p>(参考資料) 内閣府HP「南海トラフ巨大地震、首都直下地震の被害と対策に係る映像資料」</p>
41	神奈川県	高1	特別活動	スクエアード・ストリート	<p>本校は自転車通学の生徒も多く、自転車走行のルールやマナーを適切に理解することで、事故の被害者にも加害者にもならないようにすることが重要である。そこで、スタントマンによる交通事故の再現を通して、交通事故の疑似体験を行った。内輪差や死角等の自動車の特性を理解して自転車に乗車することの大切さや、イヤホンやヘッドホンを着用して自転車を走行することの危険性について理解することができた。事後に実施した振り返りのアンケートでは、交通ルールを適切に守ることで、他者の命を守ることができるということを再確認したという回答が多く見られた。</p>	<p>講師・株式会社オフィスワイルド、横須賀南警察署職員</p>
42	神奈川県	高1	特別活動	DIG	<p>学校周辺の災害の危険性を知り、自宅周辺や通学路の災害の危険性に関心を持たせることを目的とした。 市のHPから学校周辺の災害の危険性を調べさせ、ワークシートに記入させた。 司会進行は各クラスの防災委員、担任がサポートに入った。</p>	

43	神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練 「巨大津波発生時の避難行動」	南海トラフ地震等の巨大な地震が発生することが予想される中で、巨大地震から身を守るとともに、巨大津波から命を守る行動についての理解を深め、自分取るべき行動について考えさせた。 定時制は夜の時間帯であるため、電気を消して暗くなった状態での避難訓練に全生徒が真剣に取り組んでいた。	講師は、本校総括教諭が行った。 プロジェクターでスライドを映しながら、視覚的にもわかりやすい内容にした。全校生徒対象として実施した。
44	神奈川県	高2	特別活動	生と性 健康教育 講演会 「ふれあいの性・生殖の性」	高校生にとって身近な問題である「性」について科学的にとらえ、生殖の性、ふれあいの性について理解することにより、一人ひとりがより良く生きることを考える機会を設定した。 妊婦体験では胎児の予想外の重さに驚いている生徒が多くみられた。階段の昇降も体験し、妊婦に対す思いやりの気持ちも芽生えたようである。	講師は、本校養護教諭が行った。 テレビにスライドを映しながら、視覚的にもわかりやすい内容にした。
45	神奈川県	高3	特別活動	性教育 (性感染症の予防)	・目的：性感染症、妊娠、避妊等、身体についての理解を深める。また、性の学習をとおして命の大切さを考えさせるとともに、自分や相手の心と体を大切にすることを育む。 ・方法：各HR教室における動画の視聴 ・内容：医師と保健師による、それぞれ専門的な立場からの講話。医師からは、エイズウイルスをはじめ様々な性感染症の実態と感染する原因についての説明、また保健師からは、性の多様性に対する保健所の取り組みや検査、相談など保健所の役割についての説明があった。	【講演資料】 神奈川県HP内 青少年エイズ・性感染症予防講演会動画 「自分のこころとからだを大切にすること」
46	神奈川県	高1	特別活動	喫煙と健康 (喫煙防止)	・目的：喫煙が自他の心身の健康に及ぼす影響について正しく認識させることにより、未成年の段階で喫煙しないという態度を育む。 ・方法：学年集会における講師による講演、ロールプレイ ・内容：講師から、たばこについての理解の確認、受動喫煙と社会のルール、たばこに含まれる有害物質とそれによる健康への影響等についての説明があった。そして講話を踏まえ、たばこに誘われた際の対応について、講師と教員でロールプレイをした。	【講師】 横須賀市民生局 健康部 健康増進課 保健師1名 管理栄養士1名
47	神奈川県	高複合	特別活動	性	高校生にとって性は身近な存在である。思春期のこころと性、HIV/AIDS、性感染症予防の内容について、講演会を実施した。生徒たちは、性感染症などの理解を深め、自身の健康の安全確保に努めるとともに、健康でいられることのありがたさやいのちの大切さを感じ取っていた。講師からの話の後には、積極的に質問をするなど、意欲的に参加していた。アンケートの結果、8割以上の生徒が内容を理解できたと回答していた。	昭和大学助産学専攻科 および保健医療学部教授
48	神奈川県	高1	特別活動	「いのちと性の講演会」	生徒が命の尊さや性感染症を含めた性の問題に向き合い、自分や大切な人を守るためにどうすればよいかを考える際のヒントをえられるよう、講演会を行った。 講演会前後で、アンケートの記入を行ったが、性感染症等、性に関わる問題を身近なものにとらえ、今後の生き方に活かして行こうと考えた生徒が多くみられた。	講師：NPO法人 ピルコンより講師派遣

49	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月29日（火）体育館にて全校生徒を対象に実施した。自転車の通学区分、加害事故と責任、バイク乗車時の注意事項等について学び、事故に対する交通安全の意識を高めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師は平塚市交通政策課、平塚警察交通課</li> <li>・全年次</li> </ul>
50	神奈川県	高複合	特別活動	防災（DIG）研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校防災担当職員の指導による、防災（DIG）研修を実施した。目的、地震災害の発生時に取るべき行動を学び、自らの安全確保に資する。1年次、9月3日DIG伝達研修（DIGを行った新聞委員と環境委員による伝達研修）を行った。2年次、9月24日防災机上研修（災害発生時、場面に応じた対応・行動を具体的に考える研修）を行った。3年次、10月1日防災机上研修（災害発生時の行動）を行った。全年次、災害発生時に取るべき行動を学ぶことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師は本校職員「新聞委員」「環境委員」</li> <li>・全年次</li> </ul>
51	神奈川県	複合学年	特別活動	「性の健康」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育の一環として、藤沢市保健所の協力のもと「性の健康」について学ぶ。</li> <li>・基本的な男女の性の違いを認識し、その上で望まない妊娠を未然に防ぐための性に関する知識やスキルを学ぶ。</li> <li>・人権やジェンダー観、性感染症について、性の多様性を含めた幅広い性に関しての知識を高め、自己の心身の健康にどうつなげていくかを学ぶ。</li> </ul>	（講師）藤沢市保健所保健予防課・健康づくり課保健師
52	神奈川県	全学年	特別活動	薬物乱用防止講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における薬物についての諸問題について、薬剤師の立場から、違法薬物だけではなく、身近な医薬品の目的外使用も薬物乱用であることなどを学ぶ。</li> </ul>	湘南高校 学校薬剤師（配付資料）スライドによる
53	神奈川県	高複合	特別活動	AR技術等を活用した防災訓練及び津波想定避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AR技術等を活用し、学校生活で見慣れた景色や目の前の景色に災害の様子を重ね合わせ、誰でも危機感を感じやすく、より「じぶんごと」として捉え、防災意識や有事での適切な人命を守る行動力の向上を図った。</li> <li>・津波想定避難訓練では、パワーポイントの教材等を用いて、津波による被害をビジュアル化することにより、被害の甚大さや日頃からの心構えの重要性について学んだ。また、近隣の支援センターや自治会の役員などに避難経路・場所を確認していただいた。自分、他者の命を守ることの大切さを学んだ。</li> </ul>	講師については、ARは神奈川県歯科大学板宮教授、津波想定避難訓練は運営グループ総括教諭が担当。支援センター及び自治会から70名程の参加があった。
54	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全講話を実施し、自転車乗車用ヘルメット着用の努力義務化に伴いヘルメット着用・非着用による頭部への衝撃度の違いについて、事故状況を想定した実験動画を視聴することで保護具の重要性について考えることができた。</li> <li>・また、道路交通法で新たに「ながらスマホの違反に係る点数・反則金額の引き上げ」「自転車のあおり運転を危険運転として規定」、「四輪自転車の規定見直し」、「自転車交通違反への青切符導入に向けた改正法案閣議決定」について触れ、具体的な内容の理解を深めることができた。</li> </ul>	本校職員が講師となり全学年に実施

55	神奈川県	高複合	特別活動	健全な食生活の実現に向け、食に関する様々な知識と食を選択する判断力を身につける	前半では事前に行った生活リズムのアンケート結果から生徒達の睡眠時間や生活リズムの現状について振り返り、「ビタミン」「ミネラル」「糖質」「脂質」「タンパク質」の5大栄養素の重要性と日々の食事における偏りが健康に与える影響について学んだ。後半では学年関係なく5グループに分かれ、自分たちでも簡単に作ることができそうで、しつかりと5大栄養素が摂れるレシピについて調べ学習をし、話し合った内容について各班から発表を行ったことで、今後、栄養バランスのことを気にかけた食事の調理について理解を深めることができた。	本校職員が講師となり 全学年に実施
56	神奈川県	高複合	特別活動	シェイクアウト訓練及び火災発生時の避難訓練	1年生は校舎配置が頭に入っていない生徒もいるため、事前に校舎見取り図上で避難経路を考える訓練をした。 当日まで校舎内のどこから出火したか伝えず、その場の放送を聞いて判断することで状況を判断して行動できる力を身に付けさせた。 避難経路を考えながら訓練であったが、図上訓練を活かして出火場所を避けた避難ができていた。	
57	神奈川県	高1	特別活動	喫煙防止講演会	身近なタバコについての危険性や依存性について、映像・リアルな資料を用いて紹介していただいた。 講話はクイズ形式で進められ生徒も飽きずに聞いていた。 また、全生徒がCOPD体験を通して、たばこによる呼吸器への障害が出た時の体験を行った。教師が手本を見せることで、生徒は真剣に受講していた。生徒が体験した際は、活発なクラスは楽しみながら行い、呼吸器に障害が出た時の辛さを体験できたので危機意識が高まった様子だった。	小田原保健福祉事務所 保健師 ストローを使ったCOPD 体験を行った。
58	神奈川県	高複合	特別活動	性感染症予防講演会	産婦人科医師を講師として招き、「性教育を通して、自分もみんなも大切に生きていく」というテーマを設定し、若年層にも広がっている性感染症の実態や正しい避妊方法について学習した。具体的な事例や体験談を交えた講演で、多くの生徒が関心を示し傾聴していた。講演終了後に質疑応答、振り返りのアンケート記入を行い、学習内容を高めることができた。	講師：茅ヶ崎市保健所 保健予防課 保健師
59	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全教室	茅ヶ崎警察署から講師を招き、道路交通法の規定や自転車を安全に乗るルールなどを学んだ。スライドやDVDを見て、自転車の基本となるルールを確認し、交通事故の事例も交えながら自転車に乗る際の責任感を高めた。講演終了後に質疑応答を行い、学習内容を高めることができた。	講師 茅ヶ崎警察署職員 茅ヶ崎市役所安全対策 課安全対策担当職員
60	神奈川県	高1	特別活動	防災教育「災害から身を守る方法を知る」	・地域の方を講師として招き、正確な災害情報の受け取り方を学んだ。自治体から出される情報の重要性や内容について確認した。 ・一人一台端末を使用し、ハザードマップを実際に関き、情報の整理ながら通学路の危険予測などの確認を行った。 ・災害時に自分ができることについて、避難経路や家族との連絡方法などを学んだ。	国土地理院 「重ねるハザードマップ」

61	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全講話	<p>神奈川県警察の「道路交通法啓発動画」では、自転車用ヘルメット着用の努力義務や自転車安全利用五則について視聴し、交通ルールやマナーを守る大切さ、自身や他人の命を守る大切さを再確認した。また、電動キックボードについてのルールや危険性についての理解も深めた。</p> <p>TBSの「ニュース動画」では、自転車への青切符導入やモペットについて視聴し、自転車に関する最近の動向についての理解を深めた。</p> <p>動画の視聴後は、ワークシートを活用して振り返りを行い、交通事故等を自分事としてとらえ、その危険性を再確認できるよう工夫した。</p>	<p>講師：本校職員 教材：神奈川県警察公式動画、TBSニュース動画</p>
62	神奈川県	高1	特別活動	エイズ・性感染症予防講演会	<p>性感染症には様々な種類があることを学び、特に梅毒の感染者が急増しているという報告を受けた。また、感染経路も様々で、性感染症の予防方法を知ることだけでなく、パートナーとの関係づくりも大切ということも学んだ。自分の気持ちを素直に話し、他者の話をしっかり聞くことをグラウンドルールとしてグループディスカッションを行ったことで、性感染症やその予防についての深い理解が得られた。</p>	NPO法人ピルコン職員
63	神奈川県	高複合	特別活動	人権教育 「北朝鮮当局によって拉致された被害者等」	<p>北朝鮮当局による日本人拉致は、日本に対する主権侵害であるとともに、拉致被害者やそのご家族にとって重大な人権侵害である。一方、北朝鮮当局以外の北朝鮮の人々や、日本で生活する朝鮮半島につながるのある人々に責任があるわけではない。生徒には、このことを理解し、差別や偏見を持たないように伝えた。また、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、人権を尊重しようとする心を育てていくように伝えた。</p>	<p>拉致被害者横田めぐみさんの弟である横田拓也さんが作成した、ご家族からのメッセージ動画 対象：1年生～3年生</p>
64	神奈川県	高1	特別活動	いのちの授業 「生きるとはどのようなことか？ - - - 未曾有の自然災害が私達に教えてくれたこと」	<p>宮城県在住の中学生として、東日本大震災を実際に体験した講師の講演を聞いた。震災当時の動画を視聴して、震災の恐ろしさを実感するとともに、自分の意志とは関係なく突然命が奪われるということがどのようなものであったか、多くの尊い命が奪われた未曾有の大震災を教訓として私たち日本人が学んだことは何であったかを考えさせた。</p>	<p>講師は、中学生の時に東日本大震災を体験した本校職員。</p>
65	神奈川県	高複合	特別活動	薬物乱用防止教室	<p>覚せい剤・大麻・危険ドラッグ等の違法薬物の乱用が拡大していることを捉え、薬物乱用の危険性やその弊害についての基本的知識を学ぶことを目的として、さらに身体的な影響や社会へ与える影響について理解し、適切な意思決定ができる能力を身に付けさせるため専門家を招き講演を実施した。</p>	<p>講師：平塚保健福祉所 秦野センター環境衛生課職員</p>
66	神奈川県	高複合	特別活動	防災避難訓練	<p>地震及び火災発生時にまず自身の身を守り、避難場所に安全かつ迅速に移動できるよう訓練を行った。また消火器等の取扱いについて学ぶため、防災委員と担当教員とで神奈川県防災センターで各種体験行い、その様子を動画にまとめて生徒全体に上映した。</p>	<p>活動場所：神奈川県総合防災センター</p>

67	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全教育	歩行者および車両（特に二輪車）に関する安全教育を講話形式で行い、生徒たちが事故に対する恐怖や自分たちの危険行為を認識することを目指した。また、本校生徒の交通マナーについての所感を聞き、自らの交通マナーを振り返り、交通安全に対する意識を高め、自らのいのちや他者のいのちを守る行動をとるよう啓発した。	神奈川県警伊勢原警察署交通総務課に講師を依頼 複合学年(1～3年)
68	神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練	地震発生からの火災発生を想定した訓練を実施した。地震発生とともにシェイクアウトを実施し、調理室からの火災発生を想定し授業担当者の誘導による避難、校舎内に取り残された者の救出訓練を行った。最後に伊勢原消防署からの講評を聞き、防災意識の啓発を図った。	伊勢原消防署に講評を依頼 複合学年(1～3年)
69	神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地震発生を想定し、シェイクアウト訓練、および防災訓練を行う。その後、各教室にて防災学習、DIGを実施する。</li> <li>本校は耐震工事を終えており、大地震発生時は校舎内にとどまることが安全であると判断する訓練を実施する。</li> <li>大地震発生した場合、2、3日は余震が続くことが予想される。その間、学校で過ごし、地震が落ち着いてから自宅まで歩いて帰るルートを災害ポータルサイトで調べさせる。どのルートにどのような危険があるのか、どこで食料を調達し、どこに行けば医療処置を受けることが可能なのかを実際に調べてみる。(DIG)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハザードマップ(東京消防庁ホームページ)</li> <li>帰宅ルートワークシート(独自教材)</li> </ul>
70	神奈川県	高複合	特別活動	本校PTA向け「肉用鶏のと畜体験」	本校・畜産科学科では科目「農業と環境」(1年)の一環として肉用鶏の「と畜実習」を行い、家畜と食の役割を理解するとともに実習を通して、命の尊さを学んだ。今回、これらの実習を本校・PTA向けの講座として計画し、消費者である保護者を招き、養鶏専門研究部の部員が講師役となり、参加者とともにと畜から解体まで行った。家畜への感謝や食の大切さを講座を通して、改めて再確認した。	(該当生徒) 養鶏専門部 20名 高1・高2・高3
71	神奈川県	高複合	特別活動	農福連携活動「農業高校と支援学校との交流活動」	本校・畜産科学科3年の科目「課題研究」では生徒自ら農業に関する課題を設定し、調査・研究・実験などを行った。水田畑中小家畜専攻では7名の生徒が各テーマに基づき、隣接する支援学校小学部と連携し、農業体験を実施した。農業高校で実践する家畜の飼育管理、作物の飼育管理を農業高校生と支援学校の児童が一緒に進めることで食の大切さといのちの尊さを学ぶ機会となった。また、ともに活動することで農業を通じたインクルーブ教育を実践することができた。	(該当生徒) 畜産科学科3年 7名 (連携) えびな支援学校 小学部(肢体不自由部門)
72	神奈川県	高1	特別活動	SNSの安全な使い方	生徒がソーシャルメディアを利用する機会が増加したことにより、インターネット上におけるいじめや誹謗中傷といった問題が発生するなど、使用方法に関するモラルやマナーが社会問題となっている。そこで、ソーシャルメディアの安全な使い方とマナーに関する理解を映像と友人とのディスカッションにより深める。	「KDDI 株式会社」携帯安全教室 ホームページ 「KDDI スマホ・ケータイ安全教室」上級編

73	神奈川県	高複合	特別活動	防災体験訓練	地震についての講話、起震車体験、消火体験、煙ハウス体験を実施。災害がいつ起きてもおかしくない状況を自分事として捉え、防災意識を高めるきっかけとなった。熊本や東北の震災の映像では、友人や家族の安否確認方法について会話する姿が見られた。	海老名市役所職員（5名）
74	神奈川県	高複合	特別活動	避難訓練 「自助・共助を意識して臨機応変に対応する」	防災訓練・避難訓練を防災委員が約2か月に渡り1から企画・立案し、実施した。座間市内で震度6強の地震が発生した後、校内で化学実験室から通電火災が発生したことを想定し、グラウンドへ避難した。より「リアル」な災害状況に近づけるため、校舎内の崩落による通行不可エリアを設定、死体役・重傷者役を配置し、避難しながら共助ができるかを瞬時に判断させるなど、生徒が考えて避難する工夫を凝らした。火災においても煙を発生させ、煙に対してどう対応すべきかを考えるなど、実際に発災した時に近い形で避難訓練を実施した。改めて、防災というものに対して真剣に向き合おうとする生徒が多数いた。	全校生徒対象に実施した。防災委員が事前学習資料も含めて全て企画・作成し、運営した。
75	神奈川県	高1	特別活動	性教育講座	産婦人科医を講師として招き、オンライン形式で実施した。性感染症や性被害等の性教育を通して、性の知識を高めるとともに人権に対する理解を深めた。講座を通して、自分や相手を大切にすることの大切さや一人で問題を抱え込まない事の重要性について理解が深まったと感じる生徒が多くいた。	【講師】産婦人科医
76	神奈川県	高複合	特別活動	防災講演会	NHKアナウンサーとして体験した「阪神淡路大震災」の経験を基に、地震による被害の様子や被災した時の行動・心理などの経験談を通して、自分の命、他人の命を守るためには何が大切かを学ぶことができた。	高3・高2・高1対象 講師 大阪芸術大学 教授
77	神奈川県	高1	特別活動	薬物乱用防止講座	薬物について正しい知識を身に付けておらず、大麻・合法ドラッグ等は身近な存在となり、若者たちに深刻な健康被害が生じている、また薬品の大量摂取による健康被害なども報道されていることから、その影響と防止策について、大磯警察署の協力により分かりやすく講演をいただき、命の大切さを学ぶことができた。	大磯警察署 生活安全課
78	神奈川県	高1	特別活動	スケアードストリート交通安全教室	通学時だけでなく日常的に自転車を利用している本校生徒の交通事故を防止するという目的で、津久井警察署の協力を得てスケアードストリート交通安全教室をおこなった。実際の交通事故発生の様子を生徒の目の前で再現することで、生徒自身の自転車の操作を振り返らせるとともに、日々の交通安全への意識を高めた。	県教育委員会 シャドウプロダクション 津久井警察署 交通課

79 神奈川県	高複合	特別活動	自分の人生を大切に自分らしく生きていくために	<p>「性」とは「心」と「生」を合わせた心の在り方をあらわす文字である。思春期とは体の成長とともに成長し、心の悩みが多い時期であり、自分のことも他人のこともいじめたくなることもある。そんな中で性交渉をしてしまい、性感染症に感染することもある。思春期の終わりには両極端な気持ちではなく、中間があるということがわかってくる。今の自分を大切にすることが将来の自分を守ることになる。</p> <p>講師の語り口が非常にわかりやすく、また親しみやすいものであったこともあり、自分たちに置き換えて考えることができた生徒もいた。</p>	<p>講師は一般社会財団法人「住民とともに活動する保健師の会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントや映像を活用することで具体的なイメージを持つことができた。</li> </ul>
80 神奈川県	高 1	特別活動	防災教育「地震からいのちを守る」	<p>大地震が起きた後の行動について、いかにして安全に帰宅するかに重点を置き、学習している。生徒は大地震が起きた後、自身はどのように行動し、また周囲ではどのようなことが起きるか、どのように身を守ればよいかといった点について、想像力を働かせ、また調べ学習を進めながら資料にまとめた。これまでの防災教育では考えの至らなかった細かな点にも、生徒は想像力を働かせて気づくことができている。</p> <p>例年は上記の通り実施しているが、今年度は消防署職員の方の来校・講評は予定していない。</p>	(近隣消防署職員)